

## 参考にしたウェブサイト (2009年3月現在)

【省庁関係】	
文部科学省	
日本ユネスコ国内委員会	<a href="http://www.mext.go.jp/unesco/">http://www.mext.go.jp/unesco/</a>
内閣官房	
「国連持続可能な開発のための教育の10年」関係省庁連絡会議	<a href="http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokuren/">http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokuren/</a>
外務省	
国連持続可能な開発のための教育の10年	<a href="http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/kankyo/edu_10/10years_gai.html">http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/kankyo/edu_10/10years_gai.html</a>
外務省NGO相談員リスト	<a href="http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shimin/oda_ngo/shien/s_list_07.html">http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shimin/oda_ngo/shien/s_list_07.html</a>
環境省	
環境教育・環境学習データベース ECO 学習ライブラリー	<a href="http://www.eeel.go.jp/">http://www.eeel.go.jp/</a>
環境省学校工口改修と環境教育事業 eco flow	<a href="http://www.ecoflow.go.jp/">http://www.ecoflow.go.jp/</a>
【団体・組織】 (五十音順)	
あおぞら財団 (財団法人 公害地域再生センター)	<a href="http://www.aozora.or.jp/">http://www.aozora.or.jp/</a>
ESD 学校教育研究会	<a href="http://www.e-tiiki.net/ESD/">http://www.e-tiiki.net/ESD/</a>
インテル® 教育支援プログラム	<a href="http://www.intel.co.jp/jp/education/">http://www.intel.co.jp/jp/education/</a>
ECOM エコ・コミュニケーションセンター	<a href="http://www12.ocn.ne.jp/ecom/">http://www12.ocn.ne.jp/ecom/</a>
エネルギー環境教育情報センター (ICEE)	<a href="http://www.icee.gr.jp/">http://www.icee.gr.jp/</a>
えひめグローバルネットワーク ~わくわく~	<a href="http://www.egn.or.jp/">http://www.egn.or.jp/</a>
財団法人 オイスカ (OISCA)	<a href="http://www.oisca.org/">http://www.oisca.org/</a>
OM 計画株式会社	<a href="http://www.omplan.co.jp/">http://www.omplan.co.jp/</a>
特定非営利活動法人 開発教育協会 (DEAR)	<a href="http://www.dear.or.jp/">http://www.dear.or.jp/</a>
かながわ国際交流財団・あーすぶらざ	<a href="http://www.k-i-a.or.jp/plaza/">http://www.k-i-a.or.jp/plaza/</a>
独立行政法人 環境再生保全機構	<a href="http://www.erca.go.jp/jfge/">http://www.erca.go.jp/jfge/</a>
社団法人 環境情報科学センター	<a href="http://www.ceis.or.jp/">http://www.ceis.or.jp/</a>
国立民族学博物館 Kid's みんなく	<a href="http://www.minpaku.ac.jp/museum/kids/">http://www.minpaku.ac.jp/museum/kids/</a>
特定非営利活動法人 グローバルプロジェクト推進機構 (JEARN)	<a href="http://www.jearn.jp/japan/">http://www.jearn.jp/japan/</a>
NPO 法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議 (ESD-J)	<a href="http://www.esd-j.org/">http://www.esd-j.org/</a>
自由学園	<a href="http://www.jiyu.ac.jp/">http://www.jiyu.ac.jp/</a>
地雷廃絶日本キャンペーン (JCBL)	<a href="http://www.jcbl-ngo.org/">http://www.jcbl-ngo.org/</a>
新英語教育研究会	<a href="http://www.shin-eiken.com/">http://www.shin-eiken.com/</a>
地球環境パートナーシッププラザ (GEIC)	<a href="http://www.geic.or.jp/geic/">http://www.geic.or.jp/geic/</a>
東京書籍株式会社	<a href="http://www.tokyo-shoseki.co.jp/">http://www.tokyo-shoseki.co.jp/</a>
認定NPO 法人 難民を助ける会 (AAR)	<a href="http://www.aarjapan.gr.jp/">http://www.aarjapan.gr.jp/</a>
社団法人 日本環境教育フォーラム (JEEF)	<a href="http://www.jeef.or.jp/">http://www.jeef.or.jp/</a>
日本国際理解教育学会	<a href="http://www.kokusairikai.com/">http://www.kokusairikai.com/</a>

社団法人 日本ナショナル・トラスト協会	<a href="http://www.ntrust.or.jp/">http://www.ntrust.or.jp/</a>
社団法人 日本ネイチャーゲーム協会	<a href="http://www.naturegame.or.jp/">http://www.naturegame.or.jp/</a>
社団法人 日本ユネスコ協会連盟	<a href="http://www.unesco.jp/">http://www.unesco.jp/</a>
社団法人 農山漁村文化協会	<a href="http://www.ruralnet.or.jp/">http://www.ruralnet.or.jp/</a>
ブロードバンドスクール協会	<a href="http://www.broadbandschool.jp/tool/morals.html">http://www.broadbandschool.jp/tool/morals.html</a>
防災教育チャレンジプラン	<a href="http://www.bosai-study.net/top.html">http://www.bosai-study.net/top.html</a>
学びをつくる会	<a href="http://www5d.biglobe.ne.jp/~manabi/">http://www5d.biglobe.ne.jp/~manabi/</a>

【地域情報】	
仙台広域圏 ESD・RCE*	<a href="http://rce.miyakyo-u.ac.jp/">http://rce.miyakyo-u.ac.jp/</a>
横浜 RCE ネットワーク*	<a href="http://www.city.yokohama.jp/me/kankyou/kyouiku/rce/">http://www.city.yokohama.jp/me/kankyou/kyouiku/rce/</a>
中部 ESD 拠点*	<a href="http://chubu-esd.net/">http://chubu-esd.net/</a>
RCE 兵庫 - 神戸*	<a href="http://www.h.kobe-u.ac.jp/1313">http://www.h.kobe-u.ac.jp/1313</a>
ESD とよなか*	<a href="http://esdtoyonaka.net/">http://esdtoyonaka.net/</a>
西宮 ESD	<a href="http://esd.leaf.or.jp/">http://esd.leaf.or.jp/</a>
RCE 岡山*	<a href="http://www.city.okayama.okayama.jp/kankyou/kankyouhozen/esd/">http://www.city.okayama.okayama.jp/kankyou/kankyouhozen/esd/</a>
岡山ユネスコ協会	<a href="http://www.ddn.ne.jp/~o-unesco/">http://www.ddn.ne.jp/~o-unesco/</a>
島根・山口広域 ESD	<a href="http://www.shakai-gigyoo.net/esd/">http://www.shakai-gigyoo.net/esd/</a>
未来パレット 北九州ESD協議会*	<a href="http://www.k-esd.jp/">http://www.k-esd.jp/</a>
全国の「国際協力プラザコーナー」	<a href="http://www.apic.or.jp/plaza/plaza/prefecture/index.html">http://www.apic.or.jp/plaza/plaza/prefecture/index.html</a>

\*RCE 認定団体。RCE とは、「持続可能な社会」を実現するための教育を地域社会から推進することを目的とした「地域拠点」(Regional Centres of Expertise)の略称で、国連大学高等研究所が推進しています。

【大学】	
国連大学	<a href="http://www.ias.unu.edu/">http://www.ias.unu.edu/</a>
北海道教育大学釧路校 現代 GP 選定プログラム	<a href="http://ckk.kus.hokkyodai.ac.jp/gp/">http://ckk.kus.hokkyodai.ac.jp/gp/</a>
岩手大学現代 G P 「学びの銀河」プロジェクト	<a href="http://esd.iwate-u.ac.jp/">http://esd.iwate-u.ac.jp/</a>
東北大学	<a href="http://www.tohoku.ac.jp/">http://www.tohoku.ac.jp/</a>
宮城教育大学	<a href="http://www1.miyakyo-u.ac.jp/">http://www1.miyakyo-u.ac.jp/</a>
立教大学 ESD 研究センター	<a href="http://www.rikkyo.ac.jp/research/laboratory/ESD/">http://www.rikkyo.ac.jp/research/laboratory/ESD/</a>
玉川大学	<a href="http://www.tamagawa.jp/">http://www.tamagawa.jp/</a>
金沢大学	<a href="http://www.kanazawa-u.ac.jp/">http://www.kanazawa-u.ac.jp/</a>
名古屋大学	<a href="http://www.nagoya-u.ac.jp/">http://www.nagoya-u.ac.jp/</a>
奈良教育大学	<a href="http://www.nara-edu.ac.jp/">http://www.nara-edu.ac.jp/</a>
神戸大学 現代 GP プロジェクト	<a href="http://gpsed.h.kobe-u.ac.jp/">http://gpsed.h.kobe-u.ac.jp/</a>
岡山大学ユネスコチェア	<a href="http://www.esd-okayama-u.jp/">http://www.esd-okayama-u.jp/</a>
愛媛大学現代 G P	<a href="http://web.agr.ehime-u.ac.jp/~seto-eesd/">http://web.agr.ehime-u.ac.jp/~seto-eesd/</a>

## ユネスコ・スクールとは

「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。」(ユネスコ憲章前文より)

ユネスコ・スクールとは、ユネスコ憲章に示されたユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校です。世界177カ国で約8500校が活動をしています。日本からは、2009年10月現在、106校の幼稚園、小・中・高等学校及び教員養成学校が参加しています。日本政府では、ユネスコ・スクールを中心にESDを推進する様々な活動を支援しています。

### なにをするの？

ユネスコ・スクールでは、以下の4分野を基本テーマとして活動しています。

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 人権、民主主義の理解と促進
- 異文化理解
- 環境教育

上記以外の分野でも、ユネスコの理念に沿ったものであれば、各参加校がテーマ(世界遺産教育など)を設定することができます。

### ユネスコ・スクールに参加すると・・・

- ユネスコから認定証が送られてきます!
- 世界中の約8500の参加校との交流が実現!
- 最新情報が手元に! 定期的に情報誌が送付されます。
- ユネスコ・スクール(国内)ウェブ上で情報交換が可能に!

このグローバルなネットワークへの参加に関心のある方は、ユネスコ・スクールウェブサイトにて詳細をご覧ください。

## ユネスコ・スクールウェブサイト

ユネスコ・スクールのウェブサイトでは、ESDに関するイベントや各校の実践、役に立つ教材などの情報が得られます。

この冊子の内容もPDF閲覧できます。ぜひ活用ください。

ユネスコ・スクール参加校には、ログインID、パスワードが発行され、グループベースでユネスコ・スクールの活動などについての情報交換を行うことができます。

ユネスコ・スクールウェブサイト(国内) <http://www.unesco-school.jp/>

## むすびにかえて — 本プロジェクトについて —

いかがでしたか？ はじめにESDと聞いて、「エッ？ それ、どんなこと？」と大半の方は思われたのではないのでしょうか？ でも、この冊子を読まれた今は、「いいね！ それなら、できそう！」と感じていただけたでしょうか？

この冊子は、平成20年度文部科学省委託「日本/ユネスコパートナーシップ事業」の一環として財団法人ユネスコ・アジア文化センターが実施した『ESD教材活用ガイド』制作プロジェクトによるものです。

このプロジェクトの目的は、国内の小中学校で、現在、教育課程の中で実践されているESD事例を、「教材」を切り口に紹介し、それらを通じて、ESDとは何か、どのような考え方による実践なのか、今後それぞれの学校で実践するためにはどうすればよいのか、などについて、関心と理解を深めていただくことです。

そのために、基準を定めて推薦事例を募り、聞き取りの共通項目を定め、事例実践校を訪問し、実践についてお話を聞かせていただきました。その成果を冊子の発行と新しく開設されたユネスコ・スクールホームページ上でのウェブ公開という形で、広くみなさまにお届けし、広報のためのリーフレットも作成・配布いたしました。

お話を聞かせていただいた13校への訪問は、いずれも素敵な先生方との出会いの場でした。それぞれの学校でESDの実践に取り組んでおられる先生方やNPO、公的機関などでESDの実践を進めていらっしゃる方々が、このプロジェクトを通じて出会い、新たにネットワークを形成し、今後ESDが日本の国内に広がっていくきっかけとなることもプロジェクトのもう一つの目的として期待されています。2009年3月7日に開催されたヒアリング報告会には、60名を越す関係者が集い、貴重な交流の場となりました。

### ヒアリング報告会参加者の声から

- 「『心が豊かに』なって帰ってきました。日本各地で、いろいろな先生方が真摯に頑張っていていらっしゃることが、とても嬉しいとともに、自分ももっと頑張ろうという気持ちになりました。」（中学校教諭）
- 「全国各地の実践に触れ、交流できたことは大きな収穫となりました。また、機会があれば全国の実践校と交流しながら進めていきたいと思っております。」（小学校教諭）
- 「今まで地域にばかり目を向けてずっと取り組んできましたが、グローバルな視点を持つことが重要なのだと思いました。」（小学校教諭）
- 「日頃、他教科の先生方とお話することがあまりなかったので、大変貴重な機会となりました。」（中学校教諭）
- 「ユネスコ・スクールになって間もないのですが、今日はその価値を実感しました。」（高等学校教諭）

現在実践されているたくさんのESDのように、子どもたちを真ん中に、みなが手を取り合って行動していくことで、未来は必ず子どもたちが願った通りの希望に満ちたものになることでしょう。

このプロジェクトにかかわった多くの方がたによってここに込められたさまざまな気づきや学びの姿が、あなたの行動のスイッチを入れ、持続可能な未来をともにつくってゆけるよう、願いを込めてお届けします。

2009年3月  
財団法人ユネスコ・アジア文化センター

伊藤 寿子	社団法人環境情報科学センター信州分室 主任研究員
上原 有紀子	国立国会図書館調査及び立法考査局文教科科学技術課 調査員
島野 智之	宮城教育大学環境教育実践研究センター 准教授
手島 利夫	東京都江東区立東雲小学校 校長
長岡 弘志	有限会社サザンカンパニー 代表
中西 久枝	名古屋大学大学院国際開発研究科 教授
中村 絵乃	特定非営利活動法人開発教育協会 (DEAR) 事務局長
成田 喜一郎	東京学芸大学大学院教育学研究科教育実践創成専攻 教授
西村 圭一	東京学芸大学附属国際中等教育学校 教諭
丸山 英樹	国立教育政策研究所国際研究・協力部 主任研究官
村上 千里	特定非営利活動法人持続可能な開発のための教育の10年推進会議 (ESD-J) 事務局長

## 執筆担当

上原 有紀子	：第Ⅳ部 ESDと「国連ESDの10年」
竹内 よし子*	：第Ⅰ部 (事例13「モザンビーク」) *ESD-J理事
長岡 弘志	：第Ⅰ部 (事例1「松阪もめん」、事例3「奈良の世界遺産」、事例8「ecoピカセット」)
中村 絵乃	：第Ⅰ部 (事例6「回転寿司」)
成田 喜一郎	：はじめに、第Ⅰ部 (事例2「ピクトサイン」、事例5「源朝長」、事例7「学校図書館」、事例10「はらべこ体験」)、第Ⅱ部 ESDへのアプローチ
西村 圭一	：第Ⅰ部 (事例4「ペットボトルキャップ」、事例12「アンケート調査」)
丸山 英樹	：第Ⅰ部 (事例9「面瀬川」、事例11「防災マップ」)、第Ⅲ部 ESDではぐくむ「学力」

本冊子掲載の写真のうち、特に断りのないものは、事例実践小中学校の協力によるものです。

## ESD教材活用ガイド — 持続可能な未来への希望 —

本冊子は、平成20年度文部科学省委託「日本／ユネスコパートナーシップ事業」の一環として制作された『ESD教材活用ガイド—持続可能な未来への希望—』に「補論 ESD教材・実践に徹底する6つのアプローチについて」(p.108)を加えた改訂版です。(平成21年度文部科学省委託「日本／ユネスコパートナーシップ事業」)

発行日 2009年3月19日 初版発行  
2009年12月25日 改訂版発行

発行 財団法人ユネスコ・アジア文化センター (ACCU)  
〒162-8484 東京都新宿区袋町6 日本出版会館内  
TEL: 03-3269-4435 FAX: 03-3269-4510  
URL ACCU: <http://www.accu.or.jp/>  
ESD: <http://www.accu.or.jp/esd/>  
ユネスコ・スクール: <http://www.unesco-school.jp/>  
E-mail: [esd@accu.or.jp](mailto:esd@accu.or.jp)

デザイン・印刷・製本 有限会社サザンカンパニー

© ユネスコ・アジア文化センター 2009

ISBN 978-4-946438-84-4